

ヒブ導入施設向けの一夜間かけつけオプション」を順次開始した。

対象は東京23区と埼玉県の一部。施設などで夜間帯に医療処置が必要と判断した場合、提携医療機関の看護師が施設に駆



院まで同行し、家族や職員への引き継ぎまで付き添う。駆けつける看護師の到着は30分前後を想定し、確保は提携医療機関側が担う。なお、死亡診断やエンゼルケアなどの看取り対応は対象外だ。

二一ル全体の終一劃がかけつけ対応につながっていき。既存の「夜間オンコール代行」契約施設向けの追加サービスとして展開し、今後は東京以外の関東エリアにも拡大を検討

会(渋谷区、伊東弘泰会長)は4月20日から2日間、北九州市のアジア太平洋インポートマートで「北九州福祉機器展」を開催する。見て触れて体験できる最新機器や介護ロボット

例(20E午後3時)社会福祉法人スプリングひびき・宮原里美理事長「福祉機器導入による現場の生産性向上」(21日午後2時)なども併せて開催する。時間は午後1時半〜午

疑問や課題を議論 4月25日、ハイブリッド 日本介護経営学会(黒区、田中滋会長)は4月25日、同会のAI分科会の設立を記念した講演会「AIを活用した新しい介護サービスによるイノベーション」をハイブリッドで開催する。介護現場においてもケアプラン作成▽介護記録自動化▽24時間見守りシステムなど、多様な場面でのAI活用が進むなか、職員のリテラシーの向上や適切なガイドラインの整備などが急務となっている。特別講演やシンポジウムでは、厚生労働省の林俊宏大臣官房審議官も登壇。介護現場で使用されるAIとの上手な付き合い方などを幅広く議論する。 時間は午後1時〜午後4時半。大家商会本社ホール(オンライン同時開催)。会員2千円、一般3千円ほか。申し込みはホームページ。問い合わせは info@nmc.jp。

介護現場の業務効率化に向け、ICT機器の導入やAIの活用が各地で進んでいる。九州で介護事業を展開するあおぞらケアグループ(ACG、大牟禮康佑代表)は、その本質をデータの連携に見出し、システムの内製化を進め、近年は生成AIの活用によって現場業務の再設計ともいえる変化を試みている。

ACGは2006年の創業以降、訪問介護を軸に事業を拡大してきた。10年以上前から社内シ



大牟禮代表

ステム部門を置き、介護記録や業務データのデジタル化を進めてきたが、効率化の壁となっていたのが紙やFAXだ。外部から届くケアプランなどの書類は紙媒体が多く、デジタルデータとしての連携が途切れる要因となっていた。ACGの大牟禮康佑代表は「従来の紙をスキャンで読み取るOCRでは対応しきれない場面も多く、どうやってこの断絶を埋めるかが課題でした」と振り返る。 転機となったのが生成AIの登場だ。紙資料の読み取りと同時に内容を構造化し、自社システムへ取り込むことで、分断されていた業務の流れをつなげることが可能になった。ケアプランの内

紙文化の壁をAIで突破

報告書作成は10分の1に

あおぞらケアグループ

容抽出や期間の管理、報告書の作成などに活用し、文章はAIが生成し、職員はその確認を中心に行う形に近づいているという。効果は具体的な数値にも表れている。利用者が800人規模の訪問介護事業所では、月間約400時間を要していた報告書作成業務が40〜50時間程度まで削減。書類の仕分けや転記といった業務も自動化が進み、職員の役割は書類の作成から確認へと移りつつある。

また、AI活用にあたっては個人情報取り扱いも重要な。同社では企業向けのクラウド環境を用い、AIの処理内容や履歴が後から確認できる仕組みを採用している。残っている。

こうした取り組みは、介護業界全体で抱える人材不足とも無関係ではない。限られた人員でサービスを維持するためには業務の見直しは避けられず、ACGも負担軽減とケアの質の両立を掲げている。また、こうした知見をもとに、AI活用人材を育成する「ホリエモンAI学校 介護校」のフランチャイズ事業にも取り組み始めている。 もっとも、AIの導入が万能だというわけではない。システム運用や人材育成といった基盤がなければ効果は限定的だ。紙文化やDX化の課題も残るなか、AI活用の広がりが現場にどのような変化をもたらすのか、今後の検証も求められる。

4月25日、ハイブリッド 日本介護経営学会(黒区、田中滋会長)は4月25日、同会のAI分科会の設立を記念した講演会「AIを活用した新しい介護サービスによるイノベーション」をハイブリッドで開催する。介護現場においてもケアプラン作成▽介護記録自動化▽24時間見守りシステムなど、多様な場面でのAI活用が進むなか、職員のリテラシーの向上や適切なガイドラインの整備などが急務となっている。特別講演やシンポジウムでは、厚生労働省の林俊宏大臣官房審議官も登壇。介護現場で使用されるAIとの上手な付き合い方などを幅広く議論する。 時間は午後1時〜午後4時半。大家商会本社ホール(オンライン同時開催)。会員2千円、一般3千円ほか。申し込みはホームページ。問い合わせは info@nmc.jp。